

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入) 平成 26 年度

| | |
|------------|----------------|
| 事業所番号 | 2790900084 |
| 法人名 | 社会福祉法人 香西会 |
| 事業所名 | グループホームティアラ |
| 所在地 | 高槻市大冠町二丁目19番1号 |
| 自己評価作成日 | 平成 27年 1月 11日 |
| 評価結果市町村受理日 | 平成 27年 3月 13日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaijokensaku.jp/27/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyouvoCd=2790900084-00&PrefCd=27&VersionCd=022 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|----------------------------------|
| 評価機関名 | 社会福祉法人大阪府社会福祉協議会 福祉サービス第三者評価センター |
| 所在地 | 大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪社会福祉指導センター内 |
| 訪問調査日 | 平成 27年 2月 19日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

高槻市の中でも閑静な地域に位置し、南向きの広い窓から太陽が降り注ぐ明るいホームです。大きな窓やテラスを活用して、夏にはグリーンカーテンを作ったり、プランターで花を育てたりしています。犬を飼っており、散歩の時間が地域の方々との交流の時間にもなっています。皆さんから声をかけて頂き、地域に馴染んできたことが実感できます。定期的に来て下さるボランティアさんは地域の方からのお申し出がほとんどで、入居の方の楽しみが多様化が図れています。「認知症の進行をおくらせる、ゆったりとした生活づくり」を目標にかかげ、身体の健康と精神の安定にとりくんできました。ことに水分補給には力を入れ、その効果から排便リズムがととのい葉にたよらなくなったという成果も得られています。今後も利用者の心身の健康を維持するためにグループホームでできることを真摯に考え、工夫していきたいと考えています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

設立後32年の歴史を持つ社会福祉法人が、運営しているグループホームです。小規模多機能型居宅介護事業所を併設し、利用者間の交流の機会を増やすなど、連携した運営を進めています。ホームは民家風平屋建てで、採光が良く、明るく広くゆったりとくつろげる居間があります。柴犬が飼育されており、利用者の心を和ませています。利用者は地域ボランティアの支援を受けて、三味線やハーモニカ演奏を楽しみ、ちぎり絵、押し花・フラワーアレンジ等に取り組み、外食や日帰り旅行を楽しんでいます。利用者と職員が協力して制作したちぎり絵を、地域の文化展に出展して好評を得ています。災害対策では備蓄を増やし、地域の民生委員が多数参加して行われた夜間想定防災避難訓練では、消防署の指導を受けて安全対策を強化しています。24時間医療連携支援を行っており、急変時には夜間でも往診を受けることができます。管理者は職員の育成に力を入れており、職員はやさしく熱心で、法人本部のバックアップもあることから、今後もさらにサービス向上が期待できるホームです。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|--|--|--|--|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらい 3. 家族の1/3くらい 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元との関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) | ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらい 3. 職員の1/3くらい 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらい 3. 家族等の1/3くらい 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 事業開始前に、職員同士で話し合い作成した理念を掲げ、みやすい場所に掲示して常に共有を図っています。また新人研修時に理念に対する理解度の確認を行い、常に意識を持てるようにしています。毎年実施する基礎研修では、法人理念とともにティアラの理念を再確認し、実践とのリンクを振り返っています。 | 「あなたが主役の生き生き生活 家族と歩む安心ケア 誰もがくつろげるほのぼの縁側」を理念としています。理念は「グループホームティアラはご利用様が住み慣れた地域の中で、いきいきとその方らしい生活が営めるように支援します」と具体化し、地域密着型サービスの意義をふまえた支援をしています。理念は玄関等ホーム内に掲示し、パンフレット等にも掲載して共有しています。さらに新人研修や基礎研修で理念についての理解を深め、利用者支援に活かしています。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している | 近隣の方との交流は日常的にはかれています。地域とティアラが互いのイベントに気軽に参加できる関係を作れています。昨年は過去に亡くなられた方のご家族からお風呂用の花梨をいただきました。毎週一度地域のゴミ拾いを行っており、少しでも地域に貢献することを目指しています。今後は地域の方の希望を踏まえて、地域ぐるみで介護力アップが図っていけるようにしたいと考えています。 | 地域自治会長や近隣住民の理解と協力を得て、ホーム運営を進めています。利用者は地域ボランティアの協力のもと、三味線やハーモニカ演奏を楽しみ、合わせて歌を歌ったり、ちぎり絵、押し花・フラワーアレンジ等を楽しんだりしています。昨年は、利用者と職員が協力して制作したちぎり絵を、地域の文化展に出展して好評を得ました。職員は、地域のゴミ拾い等へ積極的に出かけ、地域貢献に努めています。利用者に関する近隣住民の理解も深まっており、ホームの防災避難訓練には民生委員が多数参加されるなど、利用者と職員が安心して過ごせる環境作りを進めています。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を地域の人々に向けて活かしている | 地域の掃除に職員が参加しています。施設前の公園掃除には、出来る限りご利用者と共に参加するよう心がけています。週に一度の地域清掃は前述のとおりです。昨年は地域の一人として老人会のカラオケ大会に招いていただきました。 クリスマスイルミネーションは今冬も夜道を明るく照らしました。犬の散歩も地域の方々とのかけ橋となっています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|--|---|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議には自治会長、民生委員、地域包括支援センター職員、利用者およびその家族の参加が得られており、地域と利用者の関係作りに役立っています。今年度はこれまで定例の会議を行ったにとどまっているため、第六回の会議は地域と利用者との意見交換や、交流ができる場にしたいと考えています。 | 運営推進会議は規則を定め、2か月に1回、年6回の定期開催をしています。構成メンバーは自治会長、民生委員、地域包括支援センター職員、利用者代表とその家族、ホーム管理者及び職員です。最近の会議では、介護保険の動向が在宅指向であること、ホームで取り組んだ水分摂取量アップによる予想以上の効果、在宅介護の難しさ、認知症高齢者をめぐる裁判での家族責任の重さ、防災訓練への地域参加・連携について等、参加者から積極的な発言や提案があり、意見交換をしています。会議で出された意見や助言等は、速やかにホーム運営に活かしています。管理者は、運営推進会議を更に充実させるため、利用者家族全員に会議日程等を周知し、情報を共有する等、職員間で検討を進めていく予定です。 | ホームでは、運営推進会議の一環として利用者家族にも呼びかけて排泄ケア教室、口腔ケア教室を開催する予定です。また、地域に呼びかけて介護教室、介護予防教室を開催するよう検討しています。今後、取り組みの成果が期待されま |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 事業活動の中から発生した質問、疑問については常に市町村担当者に相談し、問題提起をおこなうことから、市町村と足並みをそろえてニーズに対応できるようはかっています。 | 市の担当者とは、何かあれば電話で相談し、担当窓口に出向いて報告や情報交換をするなど、相互に協力関係を築いています。市が行う研修会やケアマネ連絡会、地域包括支援センターが行う地域ケア会議にも積極的に参加し、協力関係を深めています。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>「香西会は身体拘束・虐待をしないことを誓います」と誓いのことばを掲げ、新人研修や内部研修(基礎研修)の実施により徹底して身体拘束をしない介護に取り組んでいます。出入り口には施錠せずに利用者が自由に移動できるようにしている為、安全性については職員の連携教育により確保に努めています。</p> | <p>重要事項説明書に「身体拘束等の禁止」を明記しています。管理者は新人研修や基礎研修を実施し、身体拘束をしないケアを徹底しています。職員は「身体拘束・虐待をしないことを誓います」と誓約し、身体拘束をしない介護に取り組んでいます。日中は、ホーム出入り口には施錠せず、利用者が自由に出入りできるようにしています。利用者の安全確保については、職員間で徹底し、利用者が外出される場合には職員が付き添い支援をしています。</p> | |
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | <p>新人研修で実施しています。また、現職員に対しても、集団研修及び定期的な内部研修(基礎研修)の実施や新人教育時の講師を行うことで継続的な啓発に努めています。</p> <p>全体会議で取り上げられた虐待のケースについて毎日のミーティングで話し合うなど、事例から学ぶ機会も散発的に儲けました。これらの努力を定期的に行っていけるようにしたいと考えています。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 平成 25 年度に、地域包括の主催する会議で成年後見制度について学ぶ機会があり、自分たちが実際に担当した後見人がついたケースとも照会しながら学ぶことができました。今後は管理者やケアマネージャーから介護職員にも知識がゆきわたるように内部研修などを行いたいと考えます。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 家族、利用者と契約を締結・解約する際には丁寧な説明を行い、疑問点には全てこたえ、納得の上契約・解約頂くようにしています。利用開始後に発生した疑問についても遠慮なく質問するよう必ず伝えていきます。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 運営推進会議は利用者とその家族を固定せずに、交代で参加してもらい、利用者からの意見が偏ったものにならないよう工夫しています。家族が意見を言いやすいようこまめな連絡を行い、利用者ノートを作り、家族からの意見や質問が職員に周知できる体制をとり、毎日のミーティングの場でも共有するよう努めています。行事のお知らせをする際には前月のご本人の様子やトピックスを書いた手紙を添付し、定期的な報告を行っています。消耗品の購入をご家族に依頼する時にも、事務的な会話にとどめず、様子を伝えたりご家族の体調をお尋ねしたり、意見を伺ったりしています。電話を切る際には「何かあればいつでも電話してください」と付け加えるようにしています。さらに、入口には意見収集箱を設けています。 | 家族が来訪されたら職員から利用者の様子を報告して、意見や要望があれば聴取しています。必要時には、利用者家族にケアカンファレンスへの参加を依頼し、話し合いをしています。利用者・家族の意見や要望は、職員が利用者ノートに記載して共有し、支援に活かしています。ホーム玄関には誰でも投函できる意見収集箱を設置して、意見を出しやすい雰囲気作りをしています。毎月、家族に利用者の様子や行事等をお知らせする手紙を出して、家族と情報を共有しています。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 法人の全体会議を通じて管理者と開設者が意見を交換する場を設け、それをティアラ会議にて各主任に伝える双方向の仕組みをとっています。管理者は他職員との意見交換を日常的に行えるよう環境整備に努めています。日常的なケアや対話の中から、職員のアイデアを拾い、開設者に相談できる体制を整えています。 | 管理者は、日常業務を通じて職員と話し合い、さらに年2回面談を行い、意見や提案を聴取しています。また、職員会議で出された意見や提案等については法人の全体会議で反映し、必要な場合には法人本部へ相談する等、職員の意見反映に努めています。内部・外部研修受講については、職員の希望に添えるように取り組んでいます。キャリアパス制度を導入し、職員が十分に力を発揮できるよう支援しています。 | ホームでは、研修効果をさらに高めるため、研修に参加した職員が伝達研修の日程を決めてレジメの作成をする等、企画から実施までを一貫して行うよう取り組む予定にしています。さらに、サービスの質の向上を目指して、市内のグループホームと職員の交換研修(見学)を行い、同業他者の評価を受けてステップアップを図る予定にしています。今後、取り組みの成果が期待されます。 |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 12 | | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p> | <p>平成24年4月からキャリアパス制度を導入しました。25年度、26年度と目標を掲げて全員でとりくむことを繰り返す中で、今期は摂取水分の増加を達成し、その結果から水分摂取が排便リズムなど利用者の健康状態の安定に大きく寄与することがわかりました。次年度はより具体的に成果を数値化して表せるテーマを目標に掲げ、全員で取り組みたいと考えています。職員が、資格取得のための研修を施設の補助で受けられるように支援しています。さらに一定条件を満たす介護福祉士受験者には勉強会に参加してもらい、同じ目標を掲げた職員同士が励ましあって資格取得にとりくめる場を提供しています。昨年度は全員が合格しました。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 13 | | <p>○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>研修計画を作成し、資格取得に向けた体制をつくっており、スキルアップを奨励しています。職員から行きたい研修を管理者に相談できるように常に研修の情報を職員入口に掲示しています。管理者はすべての職員が平等に研修を受けられるように配慮しています。研修に行った職員は研修報告書を作成し、内容をすべての職員に周知できる体制をとっています。来年度は研修内容を周知する内部研修を充実させたいと考えています。</p> | | |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>市町村が行う研修会やケアマネ連絡会、包括が行う地域ケア会議に参加しています。 開設して8年目を迎えた今年度は、他のグループホームとの交換留学の話や、新規にグループホームを立ち上げる事業所から施設見学の要望をいただくことができました。実現させて、同業者とのネットワークづくりや自施設のケアの質が評価できる取組を推進したいと考えます。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|----|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | <p>サービス利用前に、家族や担当ケアマネージャーからの相談受付だけでなく、必ず本人と面談し、家族の意向と本人の意向の調整をはかりながら本人が納得してサービスを受けられるよう努力しています。また、ケアマネージャー以外のスタッフも面接に同行し、医療管理が必要な利用者には看護師が、機能訓練を要望する利用者には機能訓練指導員が面談に参加しています。収集した情報は、ご本人入居前に往診医にも届け、ご家族・ご本人が安心してグループホームでの生活を開始できるようにしています。</p> | | |
| 16 | | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p> | <p>家族からは、本人の耳には入れたくない事情などの相談もあるため、その都度個別対応するなどの配慮をしています。家族と本人との信頼関係が悪化しないよう、本人への説明内容なども充分配慮しています。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 17 | | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>サービス導入前にご本人やご家族と面談する際には出来る限り二人以上で面談し、その時希望している支援が何なのか多角的に質問や意見聴取ができるようにしています。ご利用前に面談した内容を職員に周知し、不足している情報などを挙げてもらい、情報に肉付けをするようにしています。</p> <p>入院先からのご入居の場合には、入院先の主治医やMSWさん、看護職、リハビリ担当者、ご本人、ご家族を交えてのカンファレンスを可能な限り設けていただき、環境の変化を伴う移転のため、認知症への悪影響も可能性として考えられることなど、リスクも含めて相談し、対応も考えた上でご入居いただいています。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 18 | | <p>○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p> | <p>一緒に食事したりレクリエーションをしたりしながら、お互いが双方向的な関係であることを意識できる空間を大切にしています。その人らしさを見つけ、生活の中で役割を担ってもらうと同時に、利用者ノートの活用により職員に周知徹底できるようにしています。一人ひとりが持つておられる能力を発揮していただき、どんなに小さなことでもご本人の努力に対して感謝の気持ちを伝えるよう心がけています。</p> <p>このことを実施するため、個人個人の得意なことや好きな事、逆に苦手な事をリサーチし、その方にあった毎日の日課を持っていただいて共に暮らし支えあっています。一昨年から手作りごはんの会を月に一度実施し、これまでご利用者様が参加できなかった調理の場面でも活躍していただけるようになりました。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | <p>○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p> | <p>外泊をされるご家族には直近の生活の様子をお伝えすることにより、流れとしてのご本人の生活を家族とともに支援するよう努めています。毎月行事予定のアンケートと同時に一か月のご利用者の様子を報告しています。ご家族が来所された時には声をかけ、現状の報告と同時にご家族からのご意見や要望、生活歴、好きな事、好きな物などをお聞きして、ケアや日課を考える上でのヒントにしています。病院への受診の協力もご家族から得られています。ご家族の面会は多く、気軽に出入りしていただけるグループホームになっていると考えます。職員は常にご家族の健康状態等についても日常会話の中から情報を得て、ご家族の体調を気遣う言葉かけをするよう心がけています。家族でしか解決できないご本人の不安に対しては、電話でのやりとりができるような支援も取り入れています。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 20 | 8 | <p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p> | <p>家族には、面会や見学はいつでも可能であることを伝え、親類や友人が訪ねて来てもらえるようにしています。ただし、個人情報保護の観点から、必ず事前に家族から誰が面会に行くかを知らせていただくよう願っています。</p> <p>また、以前お住まいだった家やご自宅のある町内を通して外出して昔を回想していただき、思い出を語っていただくこともあります。ご本人から懐かしい思いや安心感を得る事ができています。</p> | <p>友人等が来訪されたら家族の了解を得てホームに案内し、湯茶の接待をしてゆっくり話ができるように支援しています。利用者が年賀状や手紙を直筆で書けるよう、日頃から学習療法を行い、自分の思いを文字に表せるよう支援しています。また、電話をかける際の支援もしています。利用者の住み慣れた地域周辺に買い物へ出かけたり、ドライブをして喜ばれることもあります。</p> | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | <p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p> | <p>同じホーム内および隣接する小規模多機能ホームの利用者との交流を行い、フラワーアレンジメントや押し花教室を開催し、同じ目的をもって活動に取り組み、ともに何かを作る喜びを支援しています。毎週日曜日にはタオル体操・ラジオ体操を小規模のご利用者様と共に行い、水曜日にはティアラオリジナルのリハビリ体操を共に行っています。昨年はカレンダーにつけるイラストを利用者共同作業で作成し、町内の作品展にも出展しました。</p> <p>年間行事計画の中に、合同行事をもちこむことによって、同じ季節感を味わいながら多数の利用者と交流を持てるように配慮しています。</p> <p>誕生月のご利用者様のためにお誕生会を開き、手作りのおやつで共に祝いあっています。レクリエーション中でも、普段の生活の中でも、どうしてもお互いに相容れない場面はありますが、声のトーンや話の内容から職員が間に入って緩衝するよう努めています。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | サービス利用終了後も、その後の経過を尋ねたり、相談をいただいたりといった関係を継続しています。退所後亡くなられたとのお知らせをいただいた時にはできるだけご仏前にお詣りさせて頂き、家族と共通の思い出を語り合える時間を設けています。退所後、ご家族の許可とご本人の環境が許す限り面会に伺うようにしています。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | プラン更新時には、まず本人の意向をきき、反映しています。本人の意向を尊重する上で、家族の協力が必要な場合には調整を図っています。また、本人の意向だけを尊重すると危険が伴う場合には、本人が納得できる説明を行うとともに、実現のための方向性を模索しています。認知症で意向を正確に伝えにくい方については、傾聴につとめ、その時の気持ちをくんだ対応を行っています。ご入居前もご入居されてからも、ご本人の生活歴や趣味、好みをご本人やご家族からお聞きし、情報の肉付けを行い、入所してもこれまでの生活の流れが途切れないよう配慮しています。 | 職員は、利用者一人ひとりの意向を確認し、さらに日常生活の中から思いを汲み取り、記録に残して共有し、支援に活かしています。利用者が言葉で表せない場合には表情や素振りで確認し、困難な場合には、家族の協力を得て意向を確認しています。職員は利用者が着衣を選んだり、外食の際にはメニューを選んだりする等、自由に選択ができるように、本人の自己決定を重視した支援をしています。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 初回アセスメント時に、本人や家族の言葉としてこれまでの暮らしを教えてください。居宅や地域包括のケアマネージャーさんからも在宅時のプランなどの情報をいただいています。また、サービス利用中も世間話として昔のことや趣味のことなども話題にし、情報の肉付けを行っています。通院にご家族と同行して、ご本人の歴史についてお聞きしたこともあります。得られた情報は職員に周知してケアに活かせる工夫をしています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 25 | | <p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p> | <p>ご本人の生活のペースを把握し、快適に過ごしていただけるように努めており、起床時間や就寝時間はご本人のペースに合わせています。</p> <p>ご本人の楽しみや嗜好を探り、安全に行って頂けるよう実施場所なども全員で検討して行っています。利用者それぞれに役割を持っていただき、家事を分担して行っていただいております。今ではそれが日課になってきています。</p> <p>ADL低下のためご自分で動きにくく介助が必要になった方にも、少しでもご本人に安楽に動作をしていただくために、機能訓練士が週1回のペースでご本人のトレーニングを行っています。また、毎日の継続した運動が必要な方については、介護職や看護師がその方法を学び、運動を実施しています。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p> | <p>会議を定期的に関くほかに担当者が中心となって本人の意向をきいたり、家族の面会時や電話などで積極的に会話をし、家族と共に介護計画を作成しています。連絡ノートや利用者ノート、グループホーム会議の場を活用することにより、職員同士でもアイデアや意見が言えるようにしています。</p> <p>ご家族参加型の行事を増やすことで、ご本人のグループホームでの現状をみて頂き、意見収集をして計画につなげることができました。</p> | <p>介護計画書は本人や家族の意向を確認し、サービス担当者会議を開いて作成しています。必要時にはカンファレンスに家族も参加してもらい、相談しながら計画づくりをしています。介護計画書は職員間で共有し、ケアプラン実施表を活用して、実施状況を記録に残しています。また、連絡ノートや利用者ノートを活用して、より効果的な支援ができるように努めています。介護計画書は3ヵ月毎にモニタリングを行い、6ヵ月毎に見直しをして、利用者の変化や状況に合わせた支援をしています。介護計画書は、利用者・家族に説明を行い、了承サインを得ています。</p> | |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> | <p>申し送りや健康チェック表、利用者ノート、毎日のミーティングの場を利用しながら、会議以外でもいつでもアイデアや意見を記入することで情報を共有しています。ケアプランの実施表を設け、十日ごとのプラン実施状況を記載しています。また、毎日の個別の記録書式を見直し、毎日の変化を効率よく記録できるようになりました。これらの書式は香西会として法人内入所系サービスで統一して運用しています。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p> | <p>併設している小規模多機能ホームと合同イベントを行うことにより、施設内においても「おでかけ」の感覚で小規模多機能まで出かけて楽しんでいます。ほかに、外出行事を定期的に行っています。</p> <p>糖尿病で運動の必要な方については、楽しんで続けていただけるよう、グループホームから最も遠い事務所まで大好きな本を借りるという目的を持って歩いていただく工夫をしています。</p> <p>食べることが困難になり、医療が必要となった方については、ご家族と共に受け入れ先を探し、ご本人の生活が継続できるようにしたケースもあります。</p> <p>また、その時々歩行状態に合わせ、福祉用具の必要性を機能訓練士主体で検討し、安全・安定して利用できるまで訓練を行っています。骨折、寝たきりの状態から歩けるまでに回復された方もおられます。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人は心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域からボランティアでさまざまなレクリエーションの提供に来てもらっています。押し花、バルーンリハビリ、音楽療法、フラワーアレンジメント、ハーモニカ、三味線、水彩画など、いずれもボランティア側から申し出があり実施していただいています。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ご利用者の疾病や専門医による診察の必要性に応じて受診ができるようにしています。看護職を介在させることによって、医師への連携がスムーズに行えるようにしています。日常的な医療管理については、往診により受診して、いつでも相談や連携が行えるようにしています。往診の前には看護師が記録などから相談内容を事前にファクスしており、スムーズな受診につながっています。他科に受診する際にも、主治医に紹介状を作成していただき、スムーズに受診できています。かかりつけ医とは常に連絡がとれる体制にあり、発見した異常を早期に解決することにもつながっています。 | 利用者・家族の希望に沿った医療機関で、適切な医療が受けられるように看護職を配置し、細やかな支援をしています。希望があればホームで提携している内科医師の往診を受けることができます。また、歯科、眼科、皮膚科、耳鼻科等の受診についても希望に副った支援をしています。受診については家族同伴としていますが、緊急時や家族の都合がつかない場合には、職員が付き添い支援をしています。職員が受診支援を行った場合には結果をできるだけ早く家族に報告しています。ホームでは、提携医師と24時間連携支援を行っており、何かあれば夜間でも往診を受けることができます。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | <p>○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | <p>健康チェック表や申し送りを中心に、看護師と職員が連携をとるようにしており、少しの変化でもすぐに相談ができる体制をとることができています。また、日常のケアの中で、健康面で少しでも疑問に感じた事や異変ではないかと思ったことについては、いつでも看護師に連絡をとって指示を仰いでいます。日々しっかりと健康状態を観察し、看護師の出勤日には申し送り簿、利用者ノート、医療ノート、口頭で報告が伝わるようにしています。</p> <p>また、往診の後にはその結果を医療ノートに記載して周知をはかっています。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p> | <p>入院時にはすぐに利用者の日常の状態を病院に伝えられるように、ケア手順書や看護サマリーを整えており、適宜見直しをしています。入院時には定期的に本人を見舞い、不安を減らす支援をすると共に、家族とも連絡をとりあい、病院内での様子や変化、退院の見通しなどについて情報を得るようにしています。また、退院前にカンファレンスを持ってもらうようソーシャルワーカーなどに働きかけています。カンファレンスにはできるだけ看護職も参加するようにしています。カンファレンスが不可能な場合には、必ず看護サマリーをいただいています。</p> | | |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>重度化した場合における対応に係る指針を設定しており、契約時から、終末期について家族に意向を確認し、書面で保存しています。本人の状態が変化した場合には、あらためて家族の意向をきくようにしています。看護職員を配置し、かかりつけ医との連携を強化しています。医師からは、「夜中でもなんでも、おかしいと思ったら私に相談なさいよ」と声をかけて頂いています。</p> | <p>終末期の支援については、入居契約時に重度化した場合の対応について意向を確認し、書面に残しています。利用者が重度化した場合には、終末期支援について話し合い、意向を再確認しています。終末期支援については、看護職員を配置し、かかりつけ医と連携した対応をしています。最終的には入院されることが多いため、ホームではこれまでに看取り支援を行った経験は無い状況です。</p> | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>急変時や事故発生時の対応は、マニュアルを設けており、研修時に理解するとともに、実践的な訓練を行っています。緊急時には隣接する小規模多機能と連携して事にあたるよう教育を徹底しており、とくに夜間については新人教育時から対応の方法を繰り返し伝えて、職員にも不安がないようにしています。事故発生の場合は事故報告書を作成し、原因究明をきちんと行うことによって、再発の防止に努めています。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>年2回の消防訓練を職員・利用者参加のもとに行い、避難方法や初期消火の方法を身につけています。地域の利用者家族や民生委員とも協力して訓練を行っています。</p> <p>平成23年3月11日の東日本大震災を受け、香西会では拡大安全対策委員会を設け、大規模災害時に備えた対応マニュアルを整備し、備蓄を確保しました。今年度はさらに災害対策を充実するため、2月に法人全体での災害訓練を行うとともに、備蓄品の充実をはかります。</p> | <p>法人本部では、非常災害時の対策を強化し、「大規模災害時に備えた対応マニュアル」を整備しています。ホームでは、消防署と連携して年に2回の防災避難訓練を実施しています。夜間出火を想定した訓練では、利用者全員が避難経路を通り、ホーム外に避難するまで20分はかかる等、実践で確認した状況を踏まえて、具体的な対応策を検討しています。消防署からは、火災時の避難方法や地域協力体制について、具体的な指導・助言を受けています。平成26年度の避難訓練では、地域民生委員が多数参加し、地域協力体制の重要性を再確認しています。非常災害時の備蓄は、対応マニュアルに添って整備し、現在ホーム内に保管しています。備蓄については、備蓄内容を再検討し、さらに数量を増やして利用者が3日程度は活用できるよう、取り組んでいます。</p> | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 命令・強制・否定ことばの禁止は理念にも掲げており、新人研修でその重要性を学ぶとともに、年2回の全職員を対象とした基礎研修でも再度徹底して人格尊重の教育を行っています。個人情報記載された書類は必ず鍵のかかる場所に保管し、廃棄する場合にはシュレッダーを通してあります。さらに、業務上知りえた利用者および家族の秘密は洩らさないことを説明したうえで雇用契約を締結しており、職員の入社時研修でも教育するとともに同意書をとっています。 また、介護を行う際には羞恥心に配慮して実施するよう研修などで徹底しています。 | 職員は利用者の人格を尊重し、誇りやプライバシーに配慮した接遇を心がけています。管理者は職員が一般常識を忘れず、高齢者を先輩として敬う姿勢を持てるように、職員を育成しています。また、法人内部の新人研修や年に2回行う基礎研修を充実して、職員が接遇について学べる環境を整えています。新入職員については、3カ月の研修期間を終えて、一定のレベルに到達したことを十分確認してから重責を担う業務に配置しています。個人情報保護については、職員の就業規則に「秘密を保持する義務」として明記し、雇用時に契約書を交わしています。個人情報を記載した書類やデータ等は、厳重に保管するよう職員間で徹底しています。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 37 | | <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p> | <p>今日着たい服や今したいことといった日常生活の細かい部分にも、本人の意向を反映するようにしています。たとえば、お風呂の準備はできるだけご本人にさせていただき、下着や明日着る服などを選んでいただいて、職員が確認をするようにしています。行事で外食を食べる時などは、写真付きのメニューを用意して、ご本人の「わかる力」を活かして自己決定できる工夫をしています。したいことを妨げない声掛けの工夫は常に行っています。</p> <p>朝ゆっくりと起きる方には遅い時間に朝食がとれるよう時間を融通しています。自己決定と安全・健康のバランスがとれるように配慮しています。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 起床時間や就寝時間などは、ご本人の生活ペースを尊重しています。例えば朝起きるのが辛い日は、食事廃棄の制限時間までゆっくりと寝坊していただき、一日が気持ちよく過ごせるように配慮しています。ご本人の希望を優先する努力をしていますが、こちらの都合で予定を変更する場合や、利用者のその時の気持ちに合わないことに対しては、本人の事前の納得が得られるよう、十分な説明を行っています。読書が趣味で、本に夢中になり就寝が遅くなりがちな方には、時間を告知したり明日の予定をお伝えする事で就寝していただけるように配慮しています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | <p>今までの暮らしの情報を把握したことにより、その時々状況にあった服を選んだり、本人がおしゃれ道具や服を使いやすい配置にしたり、いつでもおしゃれが楽しめるように配慮しています。</p> <p>また、家族には事前に行事や本人のおしゃれや整容に対する意向を伝え、家族とともに準備ができるようにしています。行きたい店でカットやパーマができるように援助したり、足の不自由な利用者が毛染めできるよう手配したりといった実践を行いました。</p> <p>整容のチェック表を新設し、爪切り、耳掃除、髭そりの間隔が空きすぎないように工夫ができました。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者の能力に応じ、おしぼりの準備、机拭き、食器拭き、片付けにかかわってもらうようにしています。また、清潔に配慮しつつ、米とぎや食器洗いを行って頂き、職員が確認するようにしています。食べることが苦痛にならないよう、本人のペースで食べていただき、食べやすい食事形態や食器の工夫を行っています。食の細かい方には、おにぎりをにぎったり、ふりかけをかけたり、盛り付けを工夫したりと、食事が楽しくなるようにしています。昨年度から月に一度の手作り料理の日を設けて、できるかぎり買い物から調理、食事までご利用様に参加いただける工夫をしています。ご自分でつくった料理はいつもより食が進むようです。 | ホームでは、主食と汁物を用意し、副食は宅配業者から調理した状態で配送を受けています。副食は利用者一人ひとりの状況に合わせて刻んだり、温めたりして食べやすく工夫しています。利用者は、米とぎや食器洗い、机拭き、おしぼりの用意、片付け等、自分のできることで力を発揮しています。毎月1回は利用者の希望を確認して好みの献立を作り、利用者と買い物に出かけ、食事づくりを楽しんでいます。日帰り旅行や外出に出かける際には、利用者の好きなものを注文して楽しんでいます。職員と一緒に食事をしながら、利用者が自分のペースでゆっくり食べられるように配慮しています。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | すべての利用者について食札などに食事形態や制限を記載し、誰がどのような形態で摂取するかがわかるようにしています。できるだけ安全に美味しく食べていただけるよう、日々観察を行い、看護師や医師、家族と相談しながら食形態を変更しています。水分も含め、食事摂取量は一覧できる記録表に残しています。今年度はとくに水分摂取に力を入れ、一日の摂取量の目標を1200ccとして水分を勧めてきました。その結果、食事量や活性、排便状況がよくなった事例がありました。夜間水分補給を自室で行う方についてはペットボトルでお茶を提供し、ボトルが常に清潔なようにこまめに新品に交換しています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 一人一人の利用者に応じて、できるだけ本人の力を活かして食後に口腔ケアが行えるようにしています。義歯ケースをどこかに収納してわからなくなるご利用者様には、食事直後に義歯を外していただいで預かるなど、噛むことに不自由が出ないように工夫しています。希望者には、訪問歯科診療が受けられるように手配しています。口腔ケアについては、歯科医から適宜アドバイスをもらうことができます。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | 16 | <p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p> | <p>健康チェック表を活用し、日中夜間の状態に配慮し、かつ本人の身体的・精神的負担を考慮し、本人にふさわしい排泄の方法を家族とともに選定しています。</p> <p>オムツ利用の方については、その方の排泄の量や睡眠状態に応じて、吸収量の違うパッドをご家族と相談の上で用意していただいています。排泄一部介助の方については、起立や移乗、後始末など、ご本人ができることは可能な限り頑張らせていただくようにしています。トイレ時間が長い方やトイレ内で眠ってしまう方、トイレで転倒したことがある方については、常に声掛けを行って、内部での安全を確保できるよう努めています。</p> | <p>利用者の健康状態を細かく記録した健康チェック表と排泄チェック表を基に、排泄の自立支援を行っています。利用者の状況から、利用者に合った方法、声かけの仕方なども工夫しています。たまに失敗した際にも、さりげなく誘導し、更衣や清潔支援を行っています。声をかけるタイミングや介助の仕方等、課題の解決に向けて職員からの提案も積極的に出しています。入居時には、車イスやオムツを使用していた利用者が、体力を取り戻し、歩行器で歩けるようになり、自信をつけて排泄等自立に近い状態まで改善した事例があります。ジュース、お茶など十分な水分補給を行うことで、便秘の解消につながり、薬を使用しない排便コントロールを実践しています。</p> | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 看護師や機能訓練士と連携をとりながら、運動や水分補給を促し、便秘の予防につとめています。排便リズムは健康チェック表に記載して全職員が共有しています。看護職員が排便のない期間を常にチェックし、3日便秘が継続している時点で医師と相談して排便ができるよう、投薬や摘便の指示を受けています。今年度は水分摂取量1200cc/day 確保することで排便状況に大きな改善が見られました。今後も継続し、薬や浣腸に依存しない自然な排便を維持できるよう努めます。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 気の合う同士が同じ時間に入浴できる配慮を行っています。また毎月1回、ゆず風呂や菖蒲湯、ハーブ湯など季節感あふれる変わり風呂の入浴時間を提供しています。一方で入浴が高齢者にとって体力を消耗するものであることを全員が理解し、事前のバイタルチェックを欠かさないようにして、血圧や体温に異常がある場合は、看護師の判断により入浴を中止する場合があります。 | 利用者は、週3回程度の入浴を楽しんでいます。事前のバイタルチェック等で身体状況を確認し、体調により清拭やシャワー浴にするなど、臨機応変に対応しています。入浴を好まれない利用者には、職員が言葉かけを工夫して誘うなど、清潔を保てるように支援しています。季節のゆず湯、菖蒲湯をはじめ、バラ湯、果林湯、レモン湯、緑茶湯等を試みながら、毎月1回かわり湯を楽しんでいます。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p> | <p>本人の疲れの程度や体力、本人からの希望に応じて、日中にも時間を決めて臥床し、休息してもらえるようにしています。前日の睡眠時間も考慮に入れながら、臥床する時間の長さを決めています。夜間眠れない場合や傾眠が強い場合には、専門医にも相談できる体制ができています。布団対応にするか、ベッドをご利用になるか、抱き枕が必要かなど寝具についても家族と共に考えています。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 47 | | <p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> | <p>利用開始時に服薬説明書を提供してもらい、薬の目的や副作用、用法、用量について看護師を中心として全員が理解するよう努めています。服薬説明書と照合しながら配薬は看護師の手で確実にいき、介護職員はシフトによって服薬に関する役割を決め、必ず提供までに二人以上の職員がチェックできるように配慮しています。服薬チェック表で確実に服薬ができる支援を行っています。</p> <p>食塩を処方されている利用者には、おかゆに混ぜて摂って頂くよう、確実に内服できる工夫をしています。</p> <p>帰宅時には、専用の巾着袋に必要な分の薬を準備し、各日に持ち帰って服用いただけるようにしています。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | <p>それぞれの利用者の能力に応じ、できる家事を割り振って毎日の日課として行ってもらっています。洗濯たたみ、洗濯干し、米とぎ、食器洗い、プランターの水やりはご利用者様の日課となっており、「まだ洗濯乾かんの？」と積極的に取り組んでいただいています。部屋の飾り付けも、こちらから頼むのではなく、職員が行うことで興味を持ってもらい、手伝ってもらっています。とくに毎月のカレンダーに添えるイラストにちぎり絵で色をつけることを楽しみにしておられる方が多く、毎月できあがった作品を一か月間掲示し、成果としても楽しんでいただいています。</p> <p>日々のかかわりのなかで明らかになってくる、ご本人の特技や希望もできるだけ取り入れ、プランの中の目標として取り組めるようにしていきたいと考えます。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 天気やご本人の体調をみながら、近くの公園などに散歩に出かけています。職員が行う買い物の際に、利用者の同行を促し、街並みや商店の雰囲気を楽しんでもらっています。また、近隣の公園や堤防へは、いつでも外出ができるよう支援しています。昨年度は地域にあるカフェで毎月のお誕生日会を実施し、いつもと違った雰囲気を楽しんでいただくことができました。今年度はお誕生日に一つ希望を叶える取り組みを行い、大切な一日を家族と共に過ごしたり、美味しいお食事をとっていただいたりということを実現できました。年間に複数回外出行事を行い、レストラン、買物、花見、夏祭りなどを楽しめるよう工夫しています。また、地域の行事などを利用し、外出の機会としています。外出時には風邪などの感染症の予防にも配慮しています。 | 天候をみながら、近くの公園までよく散歩に出かけます。厳しい気候で外出が困難な時には、一旦玄関を出て併設する事業所まで歩くことで、少しでも外気に触れ、気分転換できるようにしています。法人本部近くにある公園まで、車で出かけることもあります。利用者の希望により、図書館や近くのスーパーへ出かけることもあります。月1回の誕生日会は、近くの老人保健施設のカフェで行い、さらに希望をひとつ叶える取り組みをしています。例えば「好きな所へ家族と一緒に出かける」という試みは、利用者に好評です。法人のバスを利用して、遠方への日帰り旅行、花見、お祭り、紅葉狩りなど、季節により、さまざまな企画を行い、外出の機会を増やしています。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>本人家族と相談の上、可能な方に対しては自己管理としています。自己管理が困難な方については、限度額を聞いておき、領収証をもって対応しています。行事の際のお小遣いや小銭は、できる限りご本人に持っていただくようにしています。</p> | | |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本院自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p> | <p>個々の要望があれば対応するようにしています。本人ができる部分を見極めて、最小の援助を行うように心がけています。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共有空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | <p>建物自体を民家風にし、内部は木のあたたかみを感じられる空間としています。季節ごとに飾り付けを変え、季節感が伝わるように工夫しています。飾り付けの作成には、ご利用者様に参加していただき、つくる段階から季節感を味わっていただけるようにしています。利用者の写真や手芸作品、書道の作品を掲出し、親しみが持てるよう工夫しています。昼食時はテレビを止め、音楽を流して食事に集中できるように配慮するなどの工夫もしています。</p> <p>窓際の共有スペースには、ソファを設け、それぞれが好きな場所で好きなことをして過ごせる空間の演出もしています。小規模多機能ホームを以前ご利用になり、小規模のご利用者様となじみの関係がある方には、好きな時間に小規模を訪問できるよう工夫をしています。</p> <p>フロアは日差しがよく入る明るい空間ですが、時としてまぶしさや暑さの原因になるため、ご利用者様の了解を得ながらカーテンにより光や温度が調節できるように工夫しています。</p> | <p>民家風の建物で、白い壁、木の柱、高い天井等が採光もよく設計され、明るく落ち着いた、のびやかな共有空間になっています。玄関を入ると、小窓から隣家の梅の花も楽しめます。廊下に続くリビングルームには大きな窓があり、すぐそばにある川の堤防等、のどかな風景が広がっています。テーブルを2台配置し、利用者の集いの場になっています。壁側にソファがあり、利用者から人気のあるくつろぎ場所になっています。利用者・職員で作成した季節感あふれる飾り付けが、訪問した人たちの目を楽しませています。その他、精密なちぎり絵、水彩画、押し花、書道等、多くの作品が壁面を彩っています。一方は対面キッチンとなっており、利用者が食事の盛り付けなど準備の進行状況を見て手伝うなど、参加しやすい造りになっています。</p> | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>食堂兼居間の中でも、自分の席、ソファ、台所、職員詰所、上記の各コーナーなど、自分が居たい場所に自由に移動してもらっています。それぞれにお気に入りの場所を確保して過ごしていただいています。広間の中での席順は、他のご利用者様との関係性を見ながら、お互いが不快にならないように配慮して決めています。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | <p>入居時には、早くなじめるように、長年愛用した家具の搬入などをお願いしています。個人の愛用品や、なじみの品は、その都度持ってきていただけるようにしています。ティアラに來られてからの写真はアルバムに整理し、いつでも思い出を振り返ることができるようにしています。</p> <p>居室の表札には、季節を感じる折り紙作品を飾っています。ぬいぐるみやお人形が大好きなご利用者様には、危険のない範囲で好きなだけ飾って頂けるようにしています。愛用の家具を設置したところ、その上に登るなどの危険な行為があったご利用者様については、ご家族と相談して家具の種類を考えるとともに、なぜ上に登るのかを解析して、危険行為を行わないよう工夫したケースもあります。</p> | <p>各居室はゆったりとした広さで、大きい窓があり、明るく開放的です。事業所設置のカーテンは、各居室の名前にふさわしい色にするなど工夫しています。洗面台、エアコンのほか、大きなクローゼットも設置しており、各自の持ち込み品をきれいに整理、収納することができます。家からテレビ、使い慣れた家具、なじみの人形などを好みで持ちこむことができます。職員は危険のないよう利用者と相談しながら、居心地良く過ごせるように工夫しています。</p> | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>居室掃除を共におこなうことにより、安全性を確かめながら居心地の良い空間をつくりだしています。居室やトイレがわからなくなる方については、名札やトイレの表示を大きく書き出し、本人が安心して使えるようにしています。ベッドになじめないご利用者様には布団対応をしつつ、立ち上がりの能力や危険性を配慮し、立ち上がり用の手すりを設置した事例もあります。</p> | | |